

NO. 1259 発行:松戸市 〒271-8588 松戸市根本387-5 TEL.047-366-7350 FAX.047-360-1295
編集:健康福祉本部企画管理室 e-mail mckenkikaku@city.matsudo.chiba.jp http://www.city.matsudo.chiba.jp/



みんなで築く福祉のまち

松戸市地域福祉計画を策定しました



市では、社会福祉法に規定された市町村地域福祉計画として「松戸市地域福祉計画」を策定しました。

「松戸市地域福祉計画」は、市民・行政・民間事業者等の協働により、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすことができるようなまちの実現をめざす、松戸市における地域福祉を推進するための計画です。

今回は、計画の概要をお知らせします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

健康福祉本部企画管理室 ☎366-7350

市町村が地域福祉計画を策定するに当たり、平成14年に国が策定指針を示しました。その中では、「一人ひとりの地域住民への訴え」(下記参照)として、「市民は福祉の受け手であるばかりでなく参加する担い手である」という、新しい社会福祉観が明確に打ち出されています。

一人ひとりの地域住民への訴え(抜粋)

(平成14年1月28日 社会保障審議会福祉部会)

とかく、これまでの社会福祉は、ややもすると行政から地域住民への給付という形をとってきた。しかしながら、これからは、個人の尊厳を重視し、対等平等の考え方にに基づき、地域住民すべてにとっての社会福祉として、かつ、地域住民すべてで支える社会福祉に変わっていかねばならない。そのためには社会福祉に対しての地域住民の理解と協力、つまり地域住民の参加と行動が不可欠なのである。

この際、一人ひとりの地域住民に対して、社会福祉を限られた社会的弱者に対するサービスとしてではなく、身近な日々の暮らしの場である地域社会での多様な人々の多様な生活課題に地域全体で取り組む仕組みとしてとらえなおし、地域住民としてこれらの多様な生活課題に目を向け自発的、積極的に取り組んでいただけるよう訴えたい。また、社会福祉を消極的に単なる特定の人に対する公費の投入と考えるのではなく、むしろ福祉活動を通じて地域を活性化させるものとして積極的な視点でとらえていただけるよう強く訴えたい。

これからの福祉と「地域のちから」

今日、市民の皆さんが福祉に関して求めているのは、提供される公的サービスに合わせた生活をするのではなく、一人ひとりの生活にあったサービスを住み慣れた身近な地域で受けることができるような、いわば「オーダーメイド」の福祉ではないでしょうか。

地域社会に目を向けると、生活習慣や価値観の多様化、また核家族化や都市化により、かつてのよな住民相互の社会的なつながりは希薄になっていきます。都市部に多く見られるような、お互いに干渉せず、個人の価値観やライフスタイルを尊重する今日の人間関係に基づいた地域社会は、ある意味では自由で快適な生活をもたらしたといえます。

独死、家庭内暴力、虐待、ひとり暮らし世帯の増加、ひきこもりなどが新たな社会問題となっており、他方で、従来からの地縁、血縁という人間関係に加え、ボランティアやNPOなどの、価値観を共有する「知縁」、「志縁」といった新たな人のつながりが生まれていることも見逃せません。

しかし、本格的な少子高齢社会を迎えるにあたり、このように多様化し、また増大する福祉のニーズに行政のみで十分な対応することは難しくなっています。そのため、行政や民間事業者などによるサービス提供に加えて、地域での助け合い、支え合いが重要な位置を占めるようになっていきます。

しかしながら、ひと昔前までは家庭や地域でなんとかしていたような問題を解決する力を失ってしまったことも否定できません。そうしたなかで、生活不安やストレスの増大、自殺やホームレス、孤

すべての人が家庭や地域の中で、その人らしく安心して生活することができるようなまちの実現には、地域社会を構成する一人ひとりの市民、ボランティアやNPO、各種の団体、行政がお互いに連携・協力して、それぞれに望まれる役割に基づき、これからの地域社会づくりを進めていくことが必要とされています。

市民一人ひとりが福祉の担い手へ

協働による地域社会づくり